

第2節 小串構内の立会調査

医学部臨床実験施設新営電気工事に伴う立会調査

調査地区 小串構内

調査期間 平成3年11月15日

調査方法 工事施工時における立会調査

調査面積 約0.5m²

調査結果 工事内容は小串構内の南西端部に位置する臨床実験施設への電気ケーブルその他の引き込み工事で、臨床実験施設から基礎実習棟間の西側を南北に走る道路部分の掘削と中央研究棟および実験実習棟北側への各1本の電柱埋設であった。道路部分は現地表面から約90～95cmの掘削であったが、既設の給排水管工事などによってすでに攪乱を受けていることが明らかであったため調査対象から除外し、電柱を埋設する二地点について立会調査を行った。

両地点とも現地表面から約220cm下位までの掘削である。中央研究棟北側（第1地点）では現地表面から約120cmまで構内造成時の埋め土で、その下には工事基底面まで浅黄色粘土（5Y8/4）が堆積する。実験実習棟北側（第2地点）では最上層の構内造成時の埋め土は層厚約75cmで、その下位に旧水田耕作土、床土が残存する。その下には第1地点同様、浅黄色粘土が堆積する。浅黄色粘土の検出面の深さは両地点ともほぼ同じである。同

層は色調、組成などから、小串構内で旧石器時代に属すると考えられる石器を含む堆積層の可能性はあるが、今回の調査では遺物は出土しなかった。（河村）

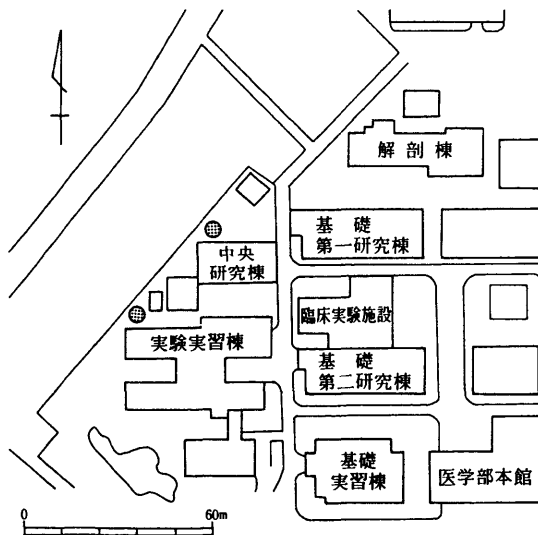


Fig. 21 調査区位置図